

2015年度（平成27年度）苫小牧市エネルギー消費量

平成31年1月
環境衛生部環境保全課

これまで「苫小牧市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、温室効果ガス排出量を算出してきましたが、2018年3月に策定した「苫小牧市第3次環境基本計画」では、市内のエネルギー消費量における削減目標を掲げています。

2014、2015年度のエネルギー消費量は以下のとおりです。

なお、二酸化炭素排出量については当報告書に参考値として記述しています。

1 エネルギー消費量について

市内エネルギー消費量は61,369TJとなり、前年度比7.3%の増加（基準年比2.4%の増加）となりました。

部門別では、産業部門で同10.1%の増加（基準年度比3.7%の増加）、業務部門で同2.6%の減少（基準年度比3.2%の減少）、家庭部門で同7.4%の減少（基準年度比1.3%の増加）、運輸部門で同0.1%の減少（基準年度比9.0%の減少）、廃棄物部門で同3.2%の増加（基準年度比8.9%の減少）となりました。

増加の主な要因として、エネルギー消費量の算出に用いる、北海道の製造品出荷額等に占める苫小牧市の割合の値が増加し、産業部門のエネルギー消費量が大きく増加したことが挙げられます。

表1. 各年度のエネルギー消費量

（単位：TJ）

	2013 (基準年度)	2014	2015	増減率	
				基準年度比	前年度比
合計	59,944	57,209	61,369	2.4%	7.3%
産業部門	48,380	45,569	50,176	3.7%	10.1%
業務部門	3,395	3,371	3,285	-3.2%	-2.6%
家庭部門	4,586	5,017	4,648	1.3%	-7.4%
運輸部門	3,181	2,897	2,895	-9.0%	-0.1%
廃棄物部門	402	355	366	-8.9%	3.2%

※ 消費量は、各種統計データを基に算定していますが、公開時期の関係で、一部のデータは推計値等を使用しています。今後、各種統計データの修正、算定方法の見直し等があった場合は、消費量は変更されることがあります。

※ 端数処理の関係から、実際の計算と一致しない場合があります。

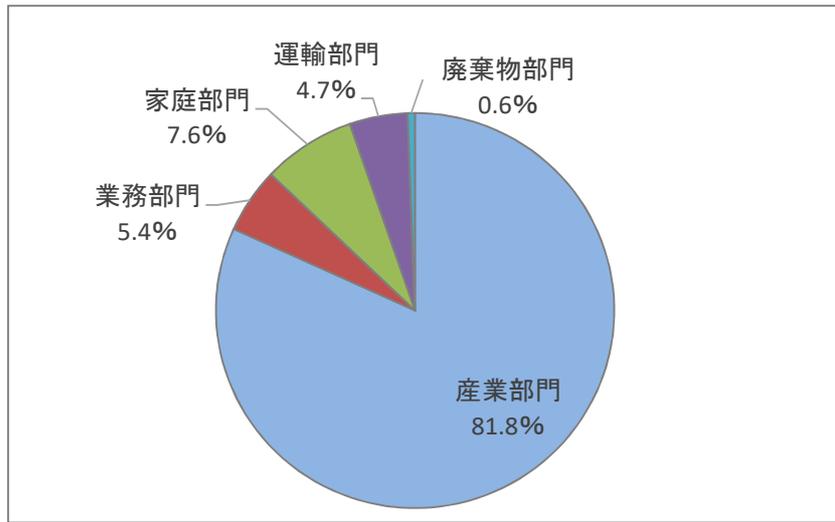


図1. エネルギー消費量の部門別内訳 (2015年度)

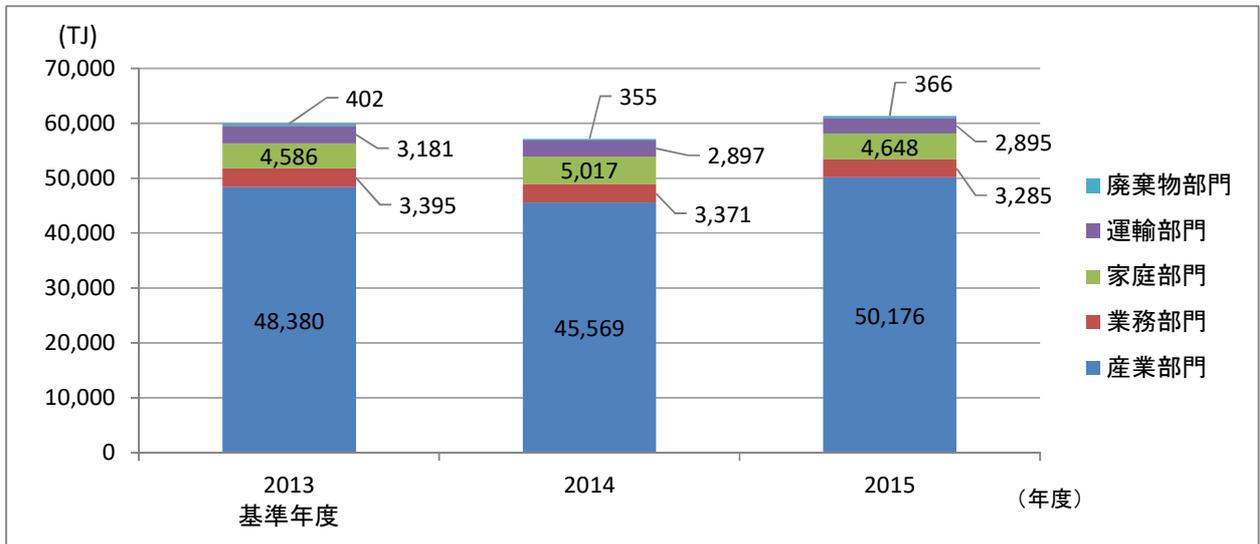


図2. エネルギー消費量の推移

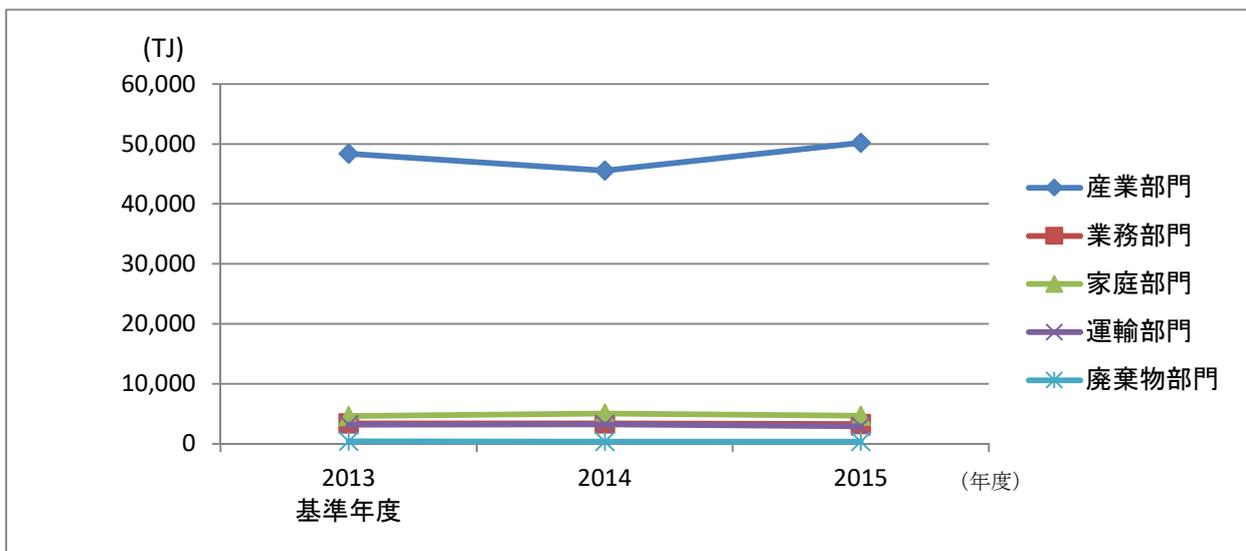


図3. エネルギー消費量の推移 (部門別)

2 目標の進捗状況

第3次環境基本計画では、中間目標（2020年度）と最終目標（2025年度）を設け、エネルギー消費量の削減を図っています。

業務部門においては、既に中間目標を上回る削減率を示していますが、主に産業部門におけるエネルギー消費量の増加により、全体の削減率としては2020年度の目標値から遠のいている状況です。

表2. エネルギー消費量の削減目標と進捗状況

(単位：TJ)

	2013 (基準年度)	目標(基準年度比削減率)		2015 (基準年度比)
		2020	2025	
合計	59,944	-4.2%	-7.0%	2.4%
産業部門	48,380	-3.5%	-5.9%	3.7%
業務部門	3,395	-2.7%	-4.5%	-3.2%
家庭部門	4,586	-5.8%	-9.9%	1.3%
運輸部門	3,181	-12.4%	-21.2%	-9.0%
廃棄物部門	402	-17.9%	-21.4%	-8.9%

※端数処理の関係から、実際の計算と一致しない場合があります。

現在、苫小牧市のエネルギー消費量の8割を占めている産業部門ですが、中間目標を達成するためには今後、毎年度約695 TJの削減が必要となります。

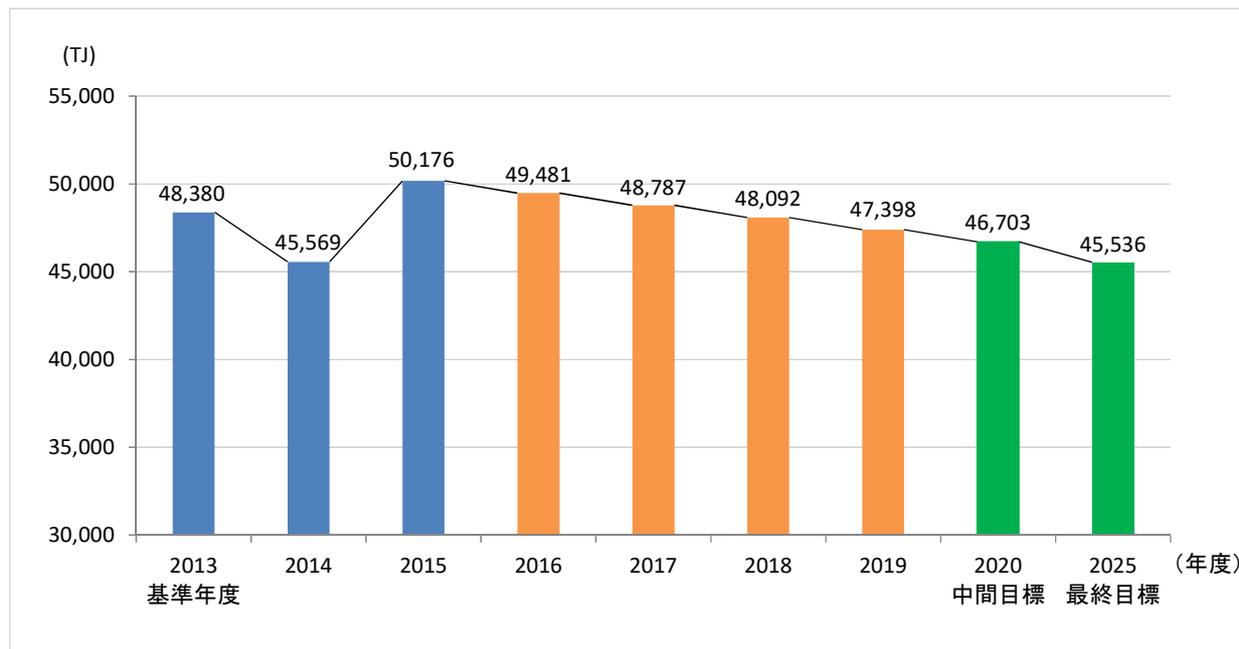


図4. 産業部門における目標とする推移

3 二酸化炭素排出量について（参考値）

市内の二酸化炭素排出量は4,813千t-CO₂となり、前年比4.9%の増加（基準年比2.0%の増加）となりました。

部門別では、産業部門で同8.1%の増加（基準年比3.9%の増加）、業務部門で同4.9%の減少（基準年度比4.7%の増加）、家庭部門で同6.9%の減少（基準年度比1.1%の減少）、運輸部門で同0.1%の減少（基準年比9.0%の減少）、廃棄物部門で同1.1%の増加（基準年度比10.3%の減少）となりました。

表3. 各年度の二酸化炭素排出量（単位：千t-CO₂）

	2013 (基準値)	2014	2015	増減率	
				基準年比	前年比
合計	4,719	4,590	4,813	2.0%	4.9%
産業部門	3,591	3,453	3,731	3.9%	8.1%
業務部門	410	410	390	-4.7%	-4.9%
家庭部門	482	513	477	-1.1%	-6.9%
運輸部門	218	199	199	-9.0%	-0.1%
廃棄物部門	18	16	16	-10.3%	1.1%

※端数処理の関係から、実際の計算と一致しない場合があります。

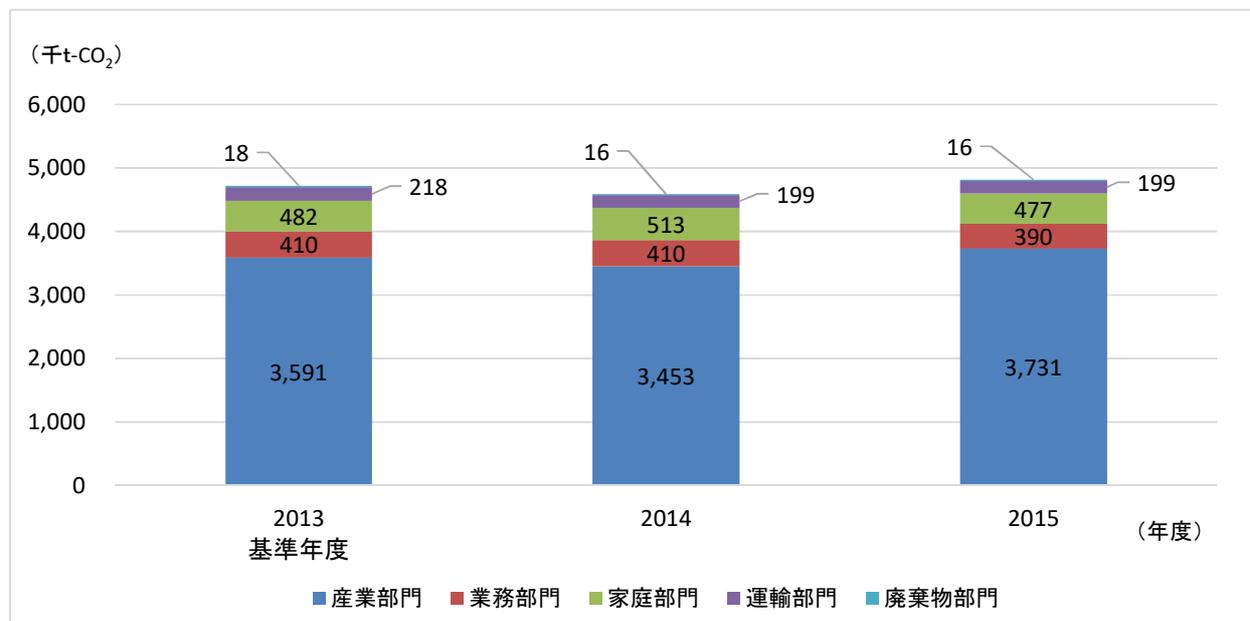


図4. 二酸化炭素排出量の推移